

作業の省力化や廃プラスチックの削減を図り、里芋の生産量や担い手を確保するのが目的とのことです。

委員からは、「生分解性マルチ1本4100円の補助金では足りない」、「生分解性マルチは、雨等の影響で里芋を出荷する前に穴が開いてしまい、そこから草が生えることがあり使いづらい」、「黒マルチに補助金を出した方がいい」等の意見がありました。

### ◆法恩寺山のオートムフェスタ

観光PR推進事業費  
法恩寺山エリアにぎわい創出  
事業委託料

予算額 325万2000円

令和4年度に法恩寺山有料道路が無料化されたことをきっかけにオートムフェスタが開催されました。これまでグリーンシーズンの誘客がネックだったこともあり、今後もオートムフェスタを継続したいとの説明がありました。  
委員▼30分300万円で花火を上げることになる。火災も危惧する。他の方法で盛り上げてほしい。  
理事者▼花火は秋の季節でもあり、秋空にきれいに映え、昨年のイベント参加者からも好評だった。

ぜひ、事業を継続していきたい。

委員▼イベント自体には反対しないが、オートムフェスタ開催までも仕掛けはないのか。持続的にイベントや広報をしなければ効果が薄い。単発の企画だけを提示されても、簡単には納得できない。  
理事者▼企画の追加と、事業者との連携を考えて再構築したい。

※後日、意見を元に再構築された計画が提示されました。



昨年の花火の様子

### ◆ゆめおーれは教育？ 商工？

はたや記念館費

予算額 3881万9000円

委員▼現在、織維協会は休会状態で、何かを起こす計画も聞こえてこない。まちなか誘客のため、館長の努力で広範囲の各所にゆめおーれの案内が置かれている事実等は把握している。一層のこと、ゆめおーれを博物館という教育機

関の位置づけにして、商工費ではなく教育費として予算組みをしてはどうか。

理事者▼施設定款では、教育、商工両方での設定になっており、それを踏まえた上で飲食店に出店していたらいてる経緯がある。観光誘致の問題については、承知している。

委員▼教育機関とすれば図書館との連結等も図ることができる。その方が市民も納得するだろう。

これらの議論を経て、予算の持ち方を検討する運びとなりました。

### ◆中央公園周辺どうする？

都市整備（補助）事業費  
設計委託料

予算額 600万円

委員▼設計の前にマスタープランの見直しをしてほしい。役所の庁舎も65年経っており、修繕が近い内に確実に必要となるため、現在の中央公園に新庁舎を建て、3棟連携等を行い、この先100年使える施設とするべき。

市の中枢エリアを数年単位の場当たり的な計画を進めるべきではない。

理事者▼これは、あくまで案とし

て出しており、市民等から意見をお聞きした上で進めていきたい。

今後も調査、意見聴取を行い、長く使える利便性の良いものができるあがる計画にしていきたいことになりました。

### ◆凍結すべきか、進むべきか

中学校再編施設整備事業費

予算額 6430万1000円

市が推進する再編計画の事業費として計上されたこの予算には、設計委託料5334万5000円、地質調査委託料1086万8000円等が含まれています。

中学校再編計画に関しては、市民の注目度も高く、委員会では多くの議論が交わされました。

総務文教厚生委員会には、市民から計画の凍結と、この予算を認めないことを求める陳情が出され、その結果は3対4で不採択となり（3ページ参照）、予算委員会でも慎重に審議されることになりました。

議論の内容としては、この予算の可否が、中学校再編計画の進捗に関わることから、市民の声を聞き凍結すべきか、市の再編計画を進めるべきかの2点を中心に、理事者と議員間で活発な議論が交わされました。